



令和4年1月6日
十日町市防災安全課

今冬の雪害状況について

今冬の雪害について、令和4年1月6日正午までの発生状況をお知らせします。

記

1 発生状況

	人的被害（人）				建物被害（棟）		
	死者	重傷者	軽症者	計	住家被害	非住家	計
新潟県全体	5	18	20	43	0	1	1
十日町市	3	1	7	11	0	1	1

2 除雪作業時の注意事項

① 【除雪機の安全利用】

- ・安全装置を器具で固定したり、ひもで縛ったりして無効化しない。
- ・機械に詰まった雪を除去するときは、必ずエンジンを停止する。

② 【落雪・転落に気を付けて】

- ・はしごを掛けるときは、倒れないように固定する。
- ・はしごの昇り降りは慎重に、屋根に移るときは特に注意する。
- ・ヘルメットを着用し、高所での作業は命綱や安全帯を使用する。

③ 【一人でしない】

- ・一人での作業は発見が遅れ重大事故につながるため、一人でしない。
- ・やむを得ず、一人で行う場合でも、事前に家族や隣人に声をかける。
- ・携帯電話など連絡できるものを持つ。

3 チラシ

別紙「安全に除雪するための3つの合言葉」（新潟県知事政策局地域政策課）

「除雪機による事故を防ごう！」（除雪機安全協議会）

■お問合せ先

十日町市 総務部 防災安全課

担当：鈴木、三浦 ☎025-757-3197（内線316）

① 県内過去10年の雪による被害

- 死傷者は**1,685人**
- 死傷者のうち、**死亡者は108人**
- 死亡者のうち、**高齢者は77%**

毎年多くの方が除雪作業で重大事故に遭われています。**特に高齢者の被害が増加傾向**です!

② 死亡事故の要因

- **高所から転落する** **最多**
屋根やはしごから転落する。
- **水路に転落する**
除雪作業中にあやまって水路に転落する。
- **体調が急変する**
疾病発症により短時間で重篤な状態になる。

- ・ **高さ4m未満からの転落も重傷・死亡事故につながっています。**
過信は禁物!
- ・ **1人での作業は発見が遅れ、重大事故につながりやすくなります。**

二人で作業できない場合は、周りに一声かけましょう!



命綱固定アンカーで安全な雪下ろしを!

新潟県では屋根の上で命綱を固定する金具の設置を推奨しています。

詳しくはHPまで

新潟県 命綱固定アンカーガイドブック

検索

<http://www.pref.niigata.lg.jp/jutaku/1356875666987.html>



除雪機使用時の事故に注意しましょう!

デッドマンクラッチ(安全装置)の無効化による事故が目立ちます。

詳しくはHPまで

新潟県 事故 除雪機

検索

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kenminseikatsu/tyuukanki030129.html>



新潟県

新潟県 知事政策局 地域政策課 TEL:025-280-5088 (直通)
県民生活・環境部 県民生活課 TEL:025-280-5249 (直通)
土木部都市局 建築住宅課 TEL:025-280-5442 (直通)
E-mail: ngt000200@pref.niigata.lg.jp



命を守る!

安全に除雪するための3つの合言葉

1 一人 でしない



作業は二人以上で行う

2 無理 しない



自分の体調を見ながら行う

3 落雪・転落 気をつけて



安全な動きやすい服装で行う

雪下ろしをはじめとする身の回りの除雪作業に関する安全対策や注意事項をまとめました。

県内過去10年の雪による死亡者は108人で、そのうち約8割は高齢者です。

慣れ・油断・過信が事故を招きます。
ご家庭やご近所で声をかけ合いましょう。



新潟県

除雪作業は危険がいっぱい。安全対策は万全に！

1人でしない

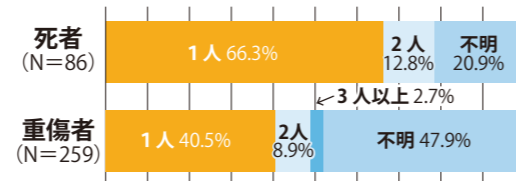
作業は2人以上で 声かけ合って

✓チェックしてみましょう!

- 事故等に備え、地域一斉の雪下ろしなど、2人以上で声をかけ合いながら作業しましょう
- やむをえず1人でする場合でも、家族や隣人に声をかけるなどしてから作業しましょう
- 携帯電話等、連絡できる端末を持って作業しましょう

1人での作業は発見が遅れ、
重大事故につながりやすくなります。

H23年国土交通省調べ



無理しない

雪下ろしは重労働 休憩しながら

✓チェックしてみましょう!

- 急な気温変化に気をつけ、除雪作業前には準備体操を行いましょう
- 最初はゆっくりと作業を始め、こまめに途中休憩・水分補給をしながら作業しましょう
- 体調の悪いとき、疲れたときは無理せずやめましょう
- 濡れた衣類はすぐに着替えましょう



落雪・転落 気をつけて

足下に注意、命綱・安全帯を着用

✓チェックしてみましょう!

- 滑りにくくするために雪を少し残し(厚さ20cm程度)、軒先には立たないようにしましょう
- 新雪や晴れの日には雪が緩みやすいので注意しましょう
- 転落に備え、建物の周りに少し雪を残しておきましょう
- 低い屋根でも油断は禁物です(車庫・物置等の屋根に登る際も注意!)
- 転落防止のため命綱や安全帯を使い、建物には命綱を固定するアンカーを設置しましょう
- 滑り落ちる雪に巻き込まれないよう、不用意に軒下に近づかないようにしましょう
- 水路に雪を捨てる際、巻き込まれないよう注意しましょう

安全な動きやすい服装で

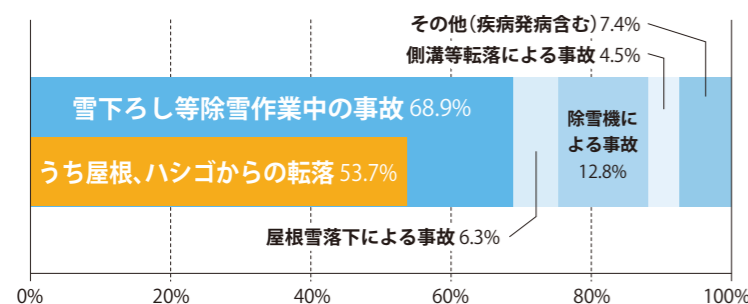
- ヘルメット、ゴム手袋、滑りにくい長靴、安全帯、かんじき等、安全確保のための服装を着用しましょう
- 除雪作業時は厚着せず動きやすい服装で行いましょう

はしごはしっかり固定

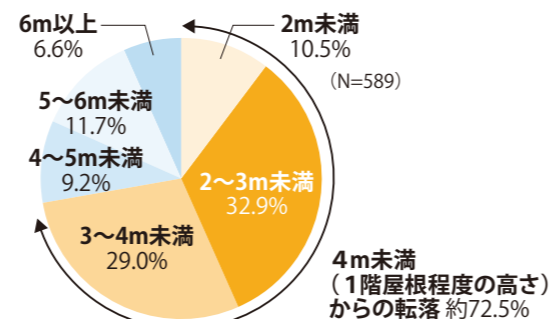
- はしごが倒れないよう屋根に対してまっすぐ設置しましょう
- 転倒防止のため、はしごの足元をしっかりと固め、上部を固定しましょう
- はしごの先端は軒先より60cm以上高くしましょう
- はしごの昇り降りは慎重に行い、屋根に移る時は特に注意しましょう



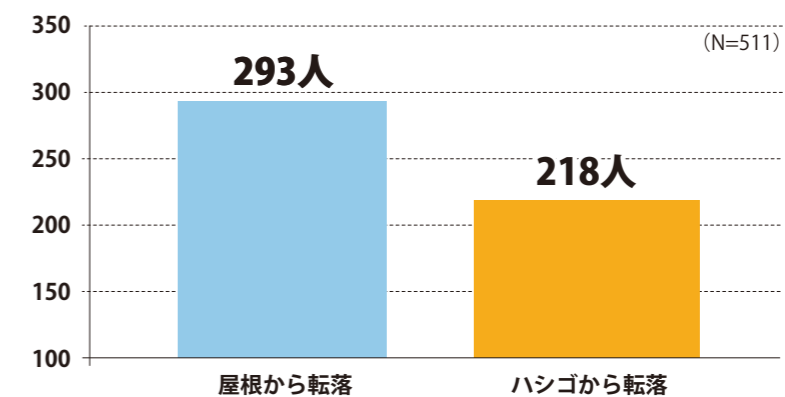
雪による死亡、重傷事故の大半は、
屋根・ハシゴからの転落です。



低い屋根からの転落が
事故の大半を占めています。



屋根からの転落事故
だけではなく
ハシゴからの転落事故も
発生しています。



H23~R2年
新潟県調べ

除雪機
による

事故を防ごう!

人がいる時は 使わない!

作業中は、絶対にまわりに
人を近づけない。



エンジンを掛けた まま離れない!

作業の時以外は、
必ずエンジンを止める。



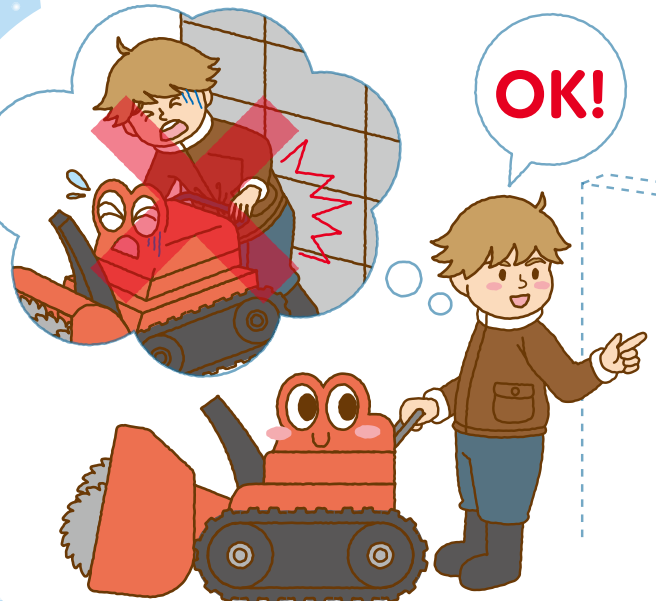
雪かき棒を 使って!

雪詰まりを取り除く時は、エンジンを
止めて必ず雪かき棒を使う。



後方注意!

後進する時は、足もとや
後方の障害物に気をつける。



使用者の責任において、正しく、安全に作業しましょう。

必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解してください。
搭載された安全機構の使い方を理解し、正しく使用してください。

除雪機安全協議会では「歩行型除雪機の安全規格」を策定し、
普及に努めています。

除雪機安全協議会

<http://www.jfmma.or.jp/jyoanky.html>

(事務局: (一社)日本農業機械工業会)

除雪機安全協議会

検索

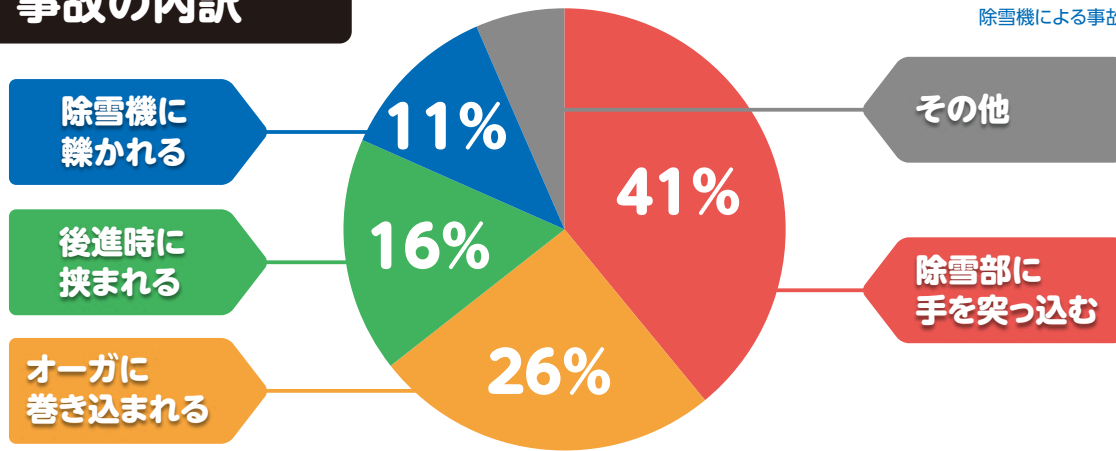


除雪機を安全にお使い頂くために

歩行型ロータリ除雪機使用中の4大事故要因

出典:消費者安全調査委員会 報告書
(令和元年5月31日公表)
除雪機による事故の件数より

事故の内訳

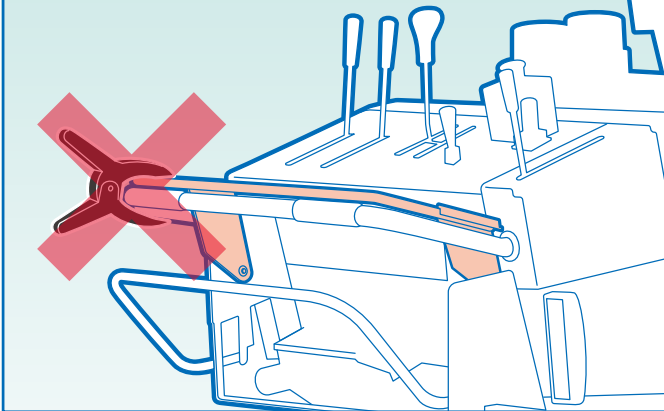


除雪中の事故が起こる原因を知り、正しく使用してください。

除雪機を安全にお使い頂くために

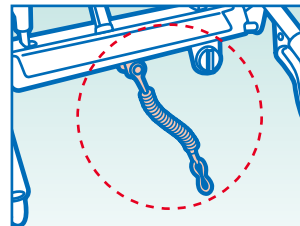
※詳しくは、お使いの除雪機の取扱説明書をご確認ください。

デッドマンクラッチ機構を固定して無効化すると、除雪機が止まらず、思わぬ重大な事故になります。



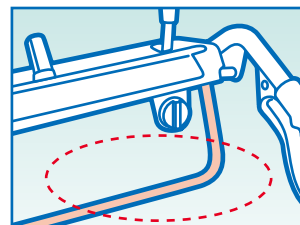
デッドマンクラッチ機構

手を離すと自動的に除雪機が止まる、大切な安全機構です。器具で固定したり、ひもで縛ったりして無効化するのはやめましょう。



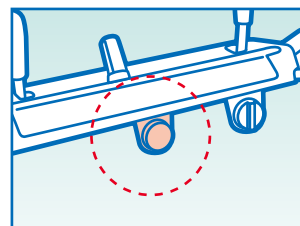
緊急停止クリップ

作業時には必ずクリップを体につけてください。クリップを体につけておけば、機械から離れた時に停止させることができます。



緊急停止バー

バーを押すとクラッチが切れ機械が停止します。



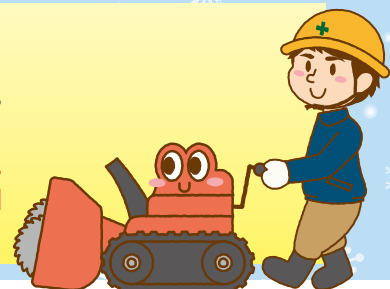
緊急停止ボタン

ボタンを押すと機械が停止します。

安全機構の無効化は非常に危険です。絶対に改造しないでください。

注意喚起事項

- 作業前には取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解する。
- 雪詰まりを取り除く時は、エンジンを止めて、必ず雪かき棒を使う。
- 回転部に近づく時は、必ずエンジンを止める。
- 後進する時は、足もとや後方の障害物に気をつける。
- 雪を飛ばす方向に注意する。作業中は、絶対にまわりに人を近づけない。
- 安全機構が正しく作動しない状態では絶対使用しない。
- 定期点検を行う。特に安全機構が正常に動作するかを確認する。
- 古い機械(平成16年4月以前)にはデッドマンクラッチ機構が装備されていない機種もあります。



「除雪機をご使用の際は、各市町村で決められたルールに従って除雪作業を行ってください」